

釧路地域バイオマスセミナー

2009年

NPOあうるずNEWSLETTER

第6号



2月17日産業創出！バイオマスを生かした地域づくり



釧路地域は畜産、漁業、林業など多様なバイオマスがあります。また、機械産業なども盛んです。バイオマスという新しい資源を得て、新産業づくりを進めましょう。

平成21年2月17日に釧路信用金庫様が共催してくれて、釧路バイオマス研修会を開催することができました。定員50名だったのですが、釧路信用金庫様のご尽力により定員130名に変更しました。それでも事前受付をお断りするような状況になり、当日も130名満員御礼になりました。

環境バイオマス総合対策推進事業意識改革事業

昨年より農水省が行っているバイオマス振興事業のうち全国9ブロックで展開されている「意識改革事業」の北海道ブロックの活動をNPOあうるずが受託しております。



釧路信金佐藤理事長のご挨拶

行政と連携することがおおいバイオマス研修会ですが、釧路地域は釧路信用金庫様のバックアップにより実現いたしました。NPOあうるずは2005年には東北道バイオマスフォーラム釧路を開催し、2007年には釧路地域バイオマス研修会を開催しています。

償還期間が長くなることや予測されるバイオマス事業では金融機関の協力が欠かせません。今回の枠組みに非常に大きな可能性を感じさせる連携体制だと思います。



community thinktank owls
北海道帯広市東二条南四丁目

開催挨拶

釧路信用金庫 理事長 佐藤優

経過説明 NPOあうるず 竹内良暉

講演

「バイオ燃料法について」農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課

「BDF・エタノールなどバイオ燃料の動向」帯広畜産大学特任教授 西崎邦夫

「熱交換技術を用いたコスト削減技術紹介」(株)アレフ環境事業部長 嶋貫久雄

「バイオマスを活用した新ビジネス提案」北海道バイオマスリサーチ(株)菊池貞雄

休憩 (10分)

情報提供

「バイオガスピレッジ構想」北海道開発局 開発調査課

「新エネルギー推進施策について」経済産業省北海道経済産業局

主催 北海道バイオマス発見活用協議会 (事務局:コミュニティシンクタンクあうるず)

共催 釧路信用金庫

協力 釧路市



農水省上條様からバイオ燃料法についての説明

農林水産省からは大臣官房環境バイオマス政策課の地域バイオマス班の上條様から「バイオ燃料施策の説明」と「バイオマスタウンの説明」をしていただきました。バイオ燃料は事業者にも各種の優遇措置や、またバイオマスタウンの展開により国内のバイオマス利用を加速させようとする取り組みについて説明してもらいました。



帯広畜産大学西崎特任教授基調講演「BDF・エタノールなどバイオ燃料の動向」

地球温暖化は本当か?から始まり、BDFやバイオエタノールなどの現状について説明をしていただきました。食料かエネルギーかという課題より食料とエネルギーと環境は相互に密接な関係をもっているため、どれかを動かすと必ず他に影響を及ぼします。常に3つのバランスをを保ちながら進める必要があるとしていました。



アレフ嶋貫部長「熱交換・ヒートポンプ」を用いたコスト削減技術紹介

阿寒のホテル鶴雅様で採用されたヒートポンプシステムによる一年間の二酸化炭素削減は2000トンにもなります。省エネルギー技術としてあるためコスト削減にもなっております。さらに必要なエネルギーはバイオマスで補うと二酸化炭素削減量は一層大きくなります。



「バイオマスを活用した新ビジネス提案」北海道バイオマスリサーチ菊池社長

バイオマスビジネスは2015年にむけて利用技術市場は2.9倍、バイオマス由来製品市場は7.8倍になると予測されています。沖縄や神戸などでマスタープランを作成した事例を紹介し、草～牛乳～チーズ～ホエー～バイオガス～液肥(市民利用による有機農業)の事例と海産物資源を活用する仕組みなどを紹介しました。



情報提供

北海道開発局開発調査課「バイオガスピレッジ構想」

開発局は平成19年～20年にかけて網走市や足寄町をフィールドとして畜産系バイオマスからガスを取り出し、そのガスで農業トラクターや、マイクロバスを利用する事業を行いました。また家庭用のLPガス代替として利用するなどの研究成果を報告していただきました。



北海道経済産業局「新エネルギー推進施策について」

北海道経済産業局では新エネルギービジョンなどの自治体に対する新エネルギー推進施策を持っていると同時に、近年では排出権やグリーン電力証券やグリーン熱証券などの政策について説明をしていただきました。

